

# こんなことあったよ！レポート

平成21年1月31日(土)～まち灯り準備スタート！編  
すみれ会&たくさんの方々



1/31 は約 70 人、  
2/7 は約 50 人と会場は今までにない参加者でいっぱいになりました。寺内さんの説明でろうそくづくりがスタート。



左：3つのテーブルの必要な道具が並べられています。  
右：温度計をみながら給食センターでいただいた廃食油を温めます。おとなも子どももみんな、何が起きるのかと注目しています。



油が温まったら凝固剤を入れていきます。

凝固剤が溶けたら、固まらないうちにお玉でカップに取り分けていきます。



左：灯心となる木綿糸をさして、倒れないように割り箸で固定して冷まします。  
右：作ったばかりのろうそくを点灯して鑑賞。

**能**代のまちをエコな灯りで照らす「のしろまち灯り」で使用するろうそく作りが始まりました。廃食油を利用したろうそく作りは今回で4回目。子ども館を会場に1月31日と2月7日の土曜日に行われ、参加者は2日合わせて120名余と今までで一番多い人数でした。回を重ねるごとにまちの人達に浸透しているようで、新聞で見たと三種町から参加する人、ろうそく作りに興味があるというお年寄りなど、下は4歳から上は80歳まで幅広い年齢の方々が集まってくれました。

子ども館指導員の寺内さんから「のしろまち灯り」の説明とろうそく作りの手順を聞いている子ども達は、ワクワクしたようすで目がキラキラしています。寺内さんと「部屋の中を走らない」「やけどに注意する」「楽しく作ろう」と約束して、いよいよろうそく作りにとりかかります。

**ま**ずは、鍋に廃食油を入れて80℃まで熱します。凝固剤を溶かしてアルミカップに流し入れるのを子ども達が順番にするのですが、ゆっくり慎重に注ぐ子、さっさとやって次にすぐ並ぶ子などそれぞれの性格がでるようで、見ていてほほえましかったですね。どの子もきちんと約束を守り、話を聞いて完成させていたので感心しました。

2月7日には県立大学木材高度加工研究所の佐々木靖さんによる廃食油からBDF(バイオディーゼル燃料)を作る工程を見せてもらい、子ども達もお手伝いしました。まるで理科の実験のような装置に興味津々の子ども達でした。

**そ**うこうしているうちに、ろうそくが固まり、完成となりました。スギあかりにさっき作ったばかりのろうそくをセットし、火を灯すと「おお〜っ」というどよめきと拍手が起こり、みんな大喜び！！身近で簡単にできるエコを体験して、おとなも子どもも大満足の様子でした。使用済みのろうそくで作ったパステル色のろうそくをおみやげにもらって、「まち灯りに行くからね〜」と元気に帰っていきました。





左: BDF をつくる工程をみな興味津々で聞きいります。  
右: 手袋・ゴーグルをして実験開始です。



左: 1月29日には、すみれ会を中心にお土産用のパステル色のろうそくを作りました。  
右: 子ども達は好きな色のろうそくとチラシ、スタンプラリーの台紙をもらって解散となりました。



クッキーを作る人、袋の中に入れる台紙を切る人と作業を分担して進めます。



甘く香ばしいにおいが増してくると共に次々とクッキーが焼きあがりました。それらを台紙と共に袋に入れて、可愛らしいリボンで縛って完成です。



夜にはサンピノで袋詰め作業。



今回も平山さんに頑張ってもらっていただき、ほっとステーションに貼るメニュー一覧も完成しました。

今回はほっとステーションで柳町商店会、西大通商店会の方々もろうそく作りに参加してくださいました。こうして小さな子どもからお年寄りの方々、商店会、市役所などたくさんの方々によるあったかい手作りの「のしろまち灯り」の準備が進んでいます。2月14日（土）のろうそくの灯りはどんなにかきれいなことでしょう。楽しみですね。

文：平山はるみ

今回で4回目となる「のしろまち灯りイベント」へ参加するにあたり、上町すみれ会独自のことが何かできないだろうかということで、自分たちが手作りしたクッキーを販売することになりました。

まず、さまざまなタイプのクッキーを試作品として作り、会員内で試食をした結果、木都能代をイメージして、ココアとプレーン2種類の生地で木の年輪をかたどったものと、サクサクとした食感のロックタイプ、さらに当日がバレンタインデーということで、紅茶入り生地をハート形にしたものと、この3つを一組100円の値段で売ることになりました。

国産の小麦粉・砂糖・卵など身元のわかる材料を準備し、約500枚のクッキーを焼き上げるための調理場（働く婦人の家・調理室）を2日間確保してよいよクッキーづくりに。

クッキーを焼いた2日間は、多くの会員が集まり、ワイワイとにぎやかな雰囲気の中で楽しく作業することができ、また、袋詰めの日には、すみれ会の会員だけではなく、柳町商店街や駅前商店街の方々も手伝いにいらしてくださり、200組の景品と、100組の「もくとクッキー」を短時間で詰め終えることができました。

当日の売れ行きは好調で、嬉しいことに早々に完売。荒れ気味の天気だったにもかかわらず沢山の人が「まち灯りイベント」に来てくれていたのだなあと、嬉しく思いました。

文：相澤温子